



議会だより



第2期越前市議会議員(議場にて撮影)

主 な 内 容

議長に福田修治氏 副議長に西野与五郎氏	2頁
ガス事業の財産処分を可決	4頁
議員16人が市長に一般質問	5～7頁
24人の議員を紹介します	8頁

6月 定例会

平成18年第3回越前市議会定例会は、5月30日～6月9日の11日間にわたって開かれました。この定例会では、市長提出補正予算案1件、条例案3件、一般議案5件、専決承認6件が市長から提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採択の結果、いずれも可決・認定しました。また、一般質問には16人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

8月 臨時会

市議会議員定数を24人にした、市初の市議会議員一般選挙の後、最初の議会が7月31日～8月4日にわたって開かれました。この臨時会では、正副議長の選挙を行い、委員会の所属、議会選出の監査委員を決めたほか、工事の委託関係議案などを審議しました。

今議会から、主義主張を同じくする集まりである「会派」の所属議員数を2人以上とし、5つの新たな会派が結成されました。(3ページ下段に関連記事)

8月 臨時会

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案などを審査するため、条例により、越前市議会では4つの常任委員会が設けられています。いずれも定数は、6人です。

議事人事決まる

議長



福田 修治
2期 66歳
監査委員などを歴任
(新世紀・市民派ネットワーク)

副議長



西野 与五郎
2期 57歳
教育厚生委員長などを歴任
(大志)

監査委員



片粕 正二郎
2期 64歳
議長などを歴任
(無所属)

総務委員会

企画部、総務部、市民生活部、出納室、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会及び監査委員に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項を所管

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 佐々木富基 |
| 副委員長 | 小形善信 |
| 委員 | 福田往世 |
| 委員 | 上山直行 |
| 委員 | 嵐等 |
| 委員 | 片粕正二郎 |



▲雨の中、今立地区での防災訓練

教育厚生委員会

教育委員会、福祉保健部及び福祉事務所に関する事項を所管

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 伊藤康司 |
| 副委員長 | 関利英子 |
| 委員 | 細川かをり |
| 委員 | 川崎悟司 |
| 委員 | 題佛臣一 |
| 委員 | 前田修治 |



▲入館者で賑わう中央図書館

産業経済委員会

産業経済部及び農業委員会に関する事項を所管

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 中西眞三 |
| 副委員長 | 吉田慶一 |
| 委員 | 三田村輝士 |
| 委員 | 大久保恵子 |
| 委員 | 西野与五郎 |
| 委員 | 金子芳巧 |



▲サマーフェスティバル(ふるさと踊り)

建設委員会

建設部及び公営企業局に関する事項を所管

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 前田一博 |
| 副委員長 | 玉村正夫 |
| 委員 | 城戸茂夫 |
| 委員 | 北野光夫 |
| 委員 | 福田修治 |
| 委員 | 玉川喜一郎 |



▲拡幅された武生駅前線

～質疑から～

■北新庄小学校の改築について
(玉川議員)

問 地元からの要望がたくさんあったと思うが、それら要望は取り入れられているのか。

この中で、男子用の洋式トイレを増やすような検討がされているのか。

答 地元期成同盟会から46項目ほどの要望があり、満足してもらえないような建設をしている。洋式トイレについても、地元要望に沿った形で配置している。

議会運営委員会

円滑な議会運営を図るため、会派間の意見調整や議長との諮問事項を調査します。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 玉川喜一郎 |
| 副委員長 | 福田 往世 |
| 委員 | 川崎 悟司 |
| 委員 | 関 利英子 |
| 委員 | 前田 一博 |
| 委員 | 上山 直行 |
| 委員 | 玉村 正夫 |

特別委員会

特定の事件を調査するために調査が終了するまで常任委員会とは別に、次の特別委員会が設けられました。

新庁舎建設対策特別委員会

新庁舎建設とあわせて中心市街地活性化対策に関する調査研究を行います。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 北野 光夫 |
| 副委員長 | 三田村輝士 |
| 委員 | 細川かをり |
| 委員 | 川崎 悟司 |
| 委員 | 関 利英子 |
| 委員 | 題佛 臣一 |
| 委員 | 伊藤 康司 |
| 委員 | 前田 修治 |

農業委員会委員

(議会推薦委員)

- | | |
|-------|-------|
| 三田村輝士 | 小形 善信 |
| 大久保恵子 | 西野与五郎 |

組合議会議員

■南越消防組合議会議員

- | | |
|-------|-------|
| 吉田 慶一 | 細川かをり |
| 伊藤 康司 | 西野与五郎 |
| 福田 往世 | 福田 修治 |
| 嵐 等 | 玉村 正夫 |
| 金子 芳巧 | 玉川喜一郎 |

■南越清掃組合議会議員

- | | |
|-------|-------|
| 三田村輝士 | 題佛 臣一 |
| 小形 善信 | 城戸 茂夫 |
| 佐々木富基 | 大久保恵子 |
| 中西 眞三 | 福田 修治 |
| 前田 修治 | 片粕正二郎 |

■福井県丹南広域組合議会議員

- | | |
|-------|-------|
| 川崎 悟司 | 関 利英子 |
| 北野 光夫 | 前田 一博 |
| 上山 直行 | 福田 修治 |

■公立丹南病院組合議会議員

- | | |
|-------|-------|
| 題佛 臣一 | 中西 眞三 |
| 上山 直行 | 福田 修治 |
| 玉村 正夫 | |

■武生三國モーターボート競走施行組合議会議員

- | | |
|-------|-------|
| 城戸 茂夫 | 佐々木富基 |
| 嵐 等 | 金子 芳巧 |
| 玉川喜一郎 | |

■鯖江広域衛生施設組合議会議員

- | | |
|-------|-------|
| 細川かをり | 福田 往世 |
| 前田 一博 | |

5会派を新結成

◆政新会

- | | |
|-----|-------|
| 会長 | 福田 往世 |
| 幹事長 | 川崎 悟司 |
| 会計 | 北野 光夫 |
| | 城戸 茂夫 |
| | 小形 善信 |
| | 中西 眞三 |
| | 伊藤 康司 |
| | 金子 芳巧 |

◆新世紀・市民派ネットワーク

- | | |
|------|-------|
| 会長 | 玉川喜一郎 |
| 会長代行 | 上山 直行 |
| 幹事長 | 佐々木富基 |
| 会計 | 三田村輝士 |
| 庶務 | 細川かをり |
| 顧問 | 福田 修治 |
| | 大久保恵子 |

◆大志

- | | |
|--------|-------|
| 会長 | 前田 一博 |
| 幹事長 | 題佛 臣一 |
| 相談役・会計 | 嵐 等 |
| | 西野与五郎 |

◆公明党議員団

- | | |
|----|-------|
| 代表 | 関 利英子 |
| 会計 | 吉田 慶一 |

◆日本共産党議員団

- | | |
|----|-------|
| 団長 | 玉村 正夫 |
| 会計 | 前田 修治 |

◇無所属

- | |
|-------|
| 片粕正二郎 |
|-------|

平成18年8月臨時会で可決した議案

◎満場一致

- ◎工事の委託協定の変更に ついて
- ◎工事の委託協定について
- ◎工事の請負契約について
- ◎越前市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について
- ◎越前市議会委員会条例の一部改正について
- ◎監査委員の選任につき同意を求めることについて

9月定例会日程

- ▼9月11日(月)
本会議(提案理由説明)
 - ▼9月13日(水)・14日(木)
・19日(火)・20日(水)
本会議(質疑、委員会付託、一般質問)
 - ▼9月21日(木)・22日(金)
各委員会
 - ▼9月25日(月)
本会議(委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)
- ※議事の都合により日程が変更になる場合があります。
※傍聴される方は、なるべく公共交通機関を利用するか乗り合わせてお越しください。

平成18年

6月定例会

(5月30日～6月9日)

ガス事業の財産処分を可決

6月定例会では、本年10月1日の市営ガス事業の民間譲渡に伴う財産の処分等について市長提案され、本会議審議・委員会審査を行いました。このうちガス事業の財産処分は、賛成多数で可決されました。

～質疑から～

■ガス事業譲渡に係る財産の処分について
(中西・玉村議員)

問 譲渡先となる越前エネライン(株)の持ち株は。

答 設立時点で、発行株式1000株のうち3%となる。

問 この持ち株3%でガス利用者への保護は図れるのか。市からの役員の派遣は考えていないのか。

答 仮譲渡契約の中で5年間のガス料金据え置きを定めており、株式を保有することで経営状況を把握する形で干渉していく。民営化の趣旨からして役員の派遣は考えていない。

問 今まで公共の福祉の増進を目的に43年も公営企業と

一般質問

市庁舎移転について

フロンティア21宮本 義利

Q 庁舎建設に関連し、合併特例債が交付税措置されることとされていたが、国で議論されている交付税改革の内容は。

A 現在、経済財政諮問会議等の中で、地方債の元利償還金に対する交付税措置の廃止、交付税の算定方式の見直し、不交付団体の比率の引き上げなどが議論されている。

Q 国は歳出を削減し、交付税を見直すと言っており、本年度策定する越前市の総合計画の中での新庁舎問題は、世の中の情勢がはつきりしてから決めるのも遅くないのでは。

A 交付税制度の今後の見直しは、庁舎の問題のみならず、越前市全体のまちづくりを大きく左右する大問題である。国の方針が出るまでは、状況を十分確認していく。

南中山小学校改築について

未来 椿原 恵

Q 南中山小学校の改築について、環境に優しい部材の使用と地元の越前和紙を使用することについて、どのように考えているのか。

A 本年度に基本設計と地質調査、その後実施設計を予定しており、維持管理の面、機能面などを考慮しながら実施設計の中で検討していきたい。

Q 地元期成同盟会からは、他にどんな要望が出ているのか。

A 校舎の構造を自然災害に耐える鉄筋構造で、木をふんだんに使った、人や環境に優しいものとする。校舎の配置は特別教室を生かした配置にする。また、竣工時期については平成20年11月の創立100周年に間に合うようにとのことであつた。



▲改築される南中山小学校校舎

狭隘道路の除雪について

新世紀 玉川 喜一郎

Q 3月下旬から5月上旬まで開催された市長による地域ミーティングでの意見、要望をどのように実現するのか。

A 有益性、効果、実現性等を十分精査、検証しながら優先順位や実施の時期等を組み立てていくことが大事である。意見・要望は各部署で整理・検討し、総合計画の素案作りに反映させる。

Q 地域ミーティングでも狭隘道路の除雪に対する意見が多くあつたが、新たな無雪化モデル計画をつくるべきではないか。

A 平成19年度に越前市の無雪化整備計画を作る必要があると考えている。市全体で狭い道路を含めた道路の優先順位をつけて融雪の整備計画を打ち出していきたい。

中居分校の廃止について

今和会 高橋 良光

Q 味真野小学校の中居分校については、分校の実態、また少子化の進捗状況を踏まえ、廃校したかどうか。

また、廃校にあたっては、本校統合のメリット、デメリットを考え合わせ、通学手段の見直しが重要と考えられる。通学距離の拡大や、通学途上の安全確保に対応するため、スクールバスの導入は考えられないか。

A 中居分校については、今後数年で、児童数が非常に少なくなることが予想され、少人数による行き届いた指導はできるが、集団の中での社会性が危惧される。本校統合及び統合に伴うスクールバスの導入については、今後、地元の方の意向、意見を調整しながら進めていきたい。



▲児童の減少が続く中居分校

してやってきて、今になって民営化する理由は、

現在、公営事業としてやっていくよりも、しっかりとした経営ノウハウを持っていく民間に経営をお願いすることが妥当と判断した。

子育て一時支援事業について (玉村議員)

子育てサポート、病児デイケア事業など評価できるが、今後さらに発展、拡充した出産育児支援策は。

県の少子化対策「ふくい3人っ子応援プロジェクト」に対応したもので、今後の支援策については、国で今検討されている具体策の内容を見て考えていきたい。

登録文化財保護整備事業について (中西議員)

当事業に300万円が計上されているが、どのような事業か。

県の歴史的建造物の保存推進事業の幅が拡大されたことに伴い、市でも登録文化財の保存、整備に係る工事に対して助成をする。

文生幼稚園を改修することだが、どのような工事をするのか。

今年の大雪で雨漏りが発生し、屋根の全面改修が必要になった。事業費としては600万円、2分の1の300万円を補助する。

格差社会の対応について

諸派・公明党 関 正美

格差の問題は、教育現場でも起きています。

家庭の経済格差が子供の学力に影響し、成績の低位層が増えてきたとの調査報告もあるが、当市の現状は。

経済的な理由で就学が困難な場合は、援助を行っており、均等に教育を受けてもらえるよう考えている。

昔は学校以外のところで人間学を学び、生きる力を養ったが、今の教育に欠けている、生きる力を養う人間づくりの教育は、どこに力点を置いていくべきか。

文部科学省では、確かな学力、豊かな人間性、健康と体力の3つの要素が絡み合って生きる力が生まれると考えており、これら徳・知・体のバランスに気をつけていく。

合併後の諸問題について

諸派・共産党 玉村 正夫

合併前は、サービスは高い方に、負担は低い方にといいながら、逆の現象が現れているので、改善すべきではないか。

国が国土の均衡ある発展という命題をないものとして自治体に自立を求めてきている中で、合併して財政基盤を強化し、苦しくてもしっかりと行政運営の中で精いっぱいやっていくことをわかつていただけるよう努めていく。

今立総合支所の権限の強化や、機能の充実などの改善が必要ではないか。

総合支所の組織・機能は合併協定の中で明確にされている。現在、支所長以下職員全員で住民のため努力しており、今後も支所機能を維持しながら住民サービスが低下しないよう努めていく。



▲今立総合支所

屋根雪下ろし支援について

諸派 山崎 隆敏

高齢者の屋根雪下ろし支援事業の対象世帯になるかどうかの判断を地区に任せたり、近くに親族がいる場合に支援の対象となるように適用拡大はできないか。

判断を地区に任せた場合に、地区により判断基準のばらつきがでくと公平性が保てないの、市で審査する。親族がいる場合の判断は、民生委員や区長の意見を聞きながら検討していきたい。

少子化対策のために、企業の協力が大変重要である。企業の策定する次世代育成支援対策推進行動計画に、母子・父子家庭の雇用促進の項目を盛り込めないか。

積極的な取り組みをしていただくように商工会議所等を通じて要請をしている。

地域振興事業の今後について

新世紀 福田 修治

地域自治振興事業交付金が今後、減ってくる。地域が自己負担額の割合が高くなっていくが、どう考えているのか。

行政と協働して進めるべき事業と地域自らが積極的に取り組む事業などの整理を行ってきた。今後もそれぞれの地域の実情に合わせて、事業の見直しや選択を住民総意の中で行っていたきたい。

自治振興会の事務局長や会計担当などの事務量が、負担も大きい。各地区に市職員を配置できないか。

職員は様々な立場で自治振興事業を支えていく必要性は認識している。教育委員会に担当理事を配置したが、人的な余裕はなく、これ以上の配置は困難だと考えている。



▲地域自治振興事業特別事業の審査会風景

自殺者と多重債務者の対策について

未来 中西 眞三

Q 自殺者の増加が深刻な社会問題になってきているが、どのような対策を講じているのか。

A 県と情報を相互交換し、対応していく。また、現在の相談業務を充実させるため、仁愛大学の心理臨床センターとも協議していきたい。

Q 深刻化する多重債務問題に関し、消費者センター職員の研修をはじめ、市ではどう対応しているのか。

A 各講座の開催や広報紙での周知のほか、弁護士との相談助言も行っている。さらに、第一義的な相談は職員が受けられるよう、県の事例研究会などに参加して研修している。

Q 障害者自立支援法が施行されたが、今後の取組姿勢は。

A 利用者の状況をみて、必要なことがあれば考えていく。



▲消費者センター(センチュリープラザ内)

継体天皇即位1500周年について

越前クラブ 福田 往世

Q 平成19年の継体天皇即位1500周年への市の対応はどうなっているのか。

A 鯖江市との連携を図り、民間団体による事業取組みにどのような支援ができるか、市として果たすべき役割を議論している。

Q 国の三位一体の改革による地方交付税の削減により、新庁舎建設の見直し論も出ているが、新庁舎の位置については、合併協議の中で極めて重い決議事項と認識するが、市長の見解は。

A 合併協議の合意事項は尊重しており、今後どういった提案ができるか考えたい。総合計画を通じて越前市になってよかつたところ、お互いにいい町をつくらうという理解が深まるような努力をしていきたい。

子供の安全確保について

諸派・公明党 関 利英子

Q 下校時の安全対策にスクールバスは有効だが、現在スクールバスを運行している学校は。

A 王子保、白山、服間、岡本小学校の4校区で運行。

Q 全国的には、通学距離に関係なく住宅の途切れるところ、山林や暗くて怖い場所がある所等もスクールバスの対象にしている市町村があるが、越前市としてはどうか。

A 制度上で定められたスクールバスでの対応は考えていないが、他の方法で対応できるかどうか論議が必要。

Q 市は先ごろ、時差出勤制度を実施したが、窓口業務の時間延長はできないか。

A 丹南広域組合のデータの処理の関係で、現在の要員体制では不可能である。



▲白山小学校のスクールバス

国民健康保険税について

諸派・共産党 前田 修治

Q 貧富の格差が広がり、収入は減る中、国民健康保険税の値上げは負担が大きいのと思われるが、市長の考えは。

A 保険はお互いの助け合いの中で運営されているので、このことを理解していただきたい。できるだけ保険料が上がらないよう努力していく。

Q 現在の国民健康保険税は高くて滞納者も多くなってきた。このため、保険料を引き下げて負担能力に応じた額とするために一般会計からの繰り入れはできないか。

A 低所得者に対する軽減の制度、または減免制度などがあるので納税相談等を通じて指導していく。一般会計からの繰り入れについては、国の定めたルールに従って行っている。

ヨウ素剤の再配備について

未来 川崎 悟司

Q ヨウ素剤の配備をやめたことについては、合併協議会の中でどういう論議がなされ、市民や区長に対して、いつどのように周知されたのか。

A 薬事法上劇薬に指定されていることや、県の原子力防災計画の備蓄範囲外であることから、薬効期限が切れた時点で廃止することとした。周知については、昨年の8月から9月下旬にかけて、地区単位で全区長を対象に説明を行なった。

Q 入札の競争性・透明性を高めることやコスト削減の点から電子入札の導入についてどう考えているのか。

A 県では、平成22年度を電子入札共同システムへの導入目標としており、県と歩調を合わせて取り組んでいく。

給与の不適切な支払いについて

諸派 安立 里美

Q 旧今立町の給与の不適切な支払に対し、昨年11月に懲罰審査委員会が開催されたが、議会等にそのことを公表しなかつた理由は。

A これまでも職員の懲戒処分は公表していません。合併直後で旧今立町職員が萎縮することを心配した。

Q 人事記録等の改ざんに関しては、刑法155条の公文書偽造に当たるのではないか。

A 懲罰審査委員会に報告をもらった中で、刑法上の対応はできないという判断をした。

Q 懲罰審査委員会に關し、情報公開請求したが不開示が多い。情報公開条例の運用が後退したのでは。

A 個人情報保護は試行錯誤の段階であり、問題があれば情報公開審査会で改めていく。

中学校の部活動について

諸派 題佛 臣一

Q 中学校の部活動は、その学校の校長が認めないと部として認められないと聞くが、どうか。

A 部活動の開設については、学校に指導者がいるか、部活動の場所があるか、部員数が確保されているかなどを校長の判断で決めている。

Q 中学校では顧問がいないと部活動はできないということになるが、顧問はいるが、希望者が多い場合はどうなるのか。

A 希望者が多い場合は、校長が顧問の先生の同意を得てやっているのが現状である。外部の方に指導に来ていただく外部指導者という方法もある。また、人数の問題で大会に出られないような場合は、近隣の学校と合同チームで参加できることも考えている。

情報の管理体制について

未来 小形 善信

Q 去る3月15日に市図書館の業務の中でメールの誤発信があったが、そのときの市の対応は。

A 誤発信の事実が判明してすぐ、対象者に事実の報告と謝罪のメールを送り、翌日には指摘をいただいた方に謝罪に向いた。その後、関係課と今後の対応について協議し、そのことを市のホームページに掲載、報道機関に発表した。

Q ウィニーなどのウィルス感染による情報流出についても、どう対応したのか。また、新しいウィルスに対して情報の管理をどうするのか。

A ウィニー対策は、総務省の通知方針に基づき、個人情報保護の周知徹底と意識向上のためセキュリティポリシーを重視して取り組んでいる。

平成18年6月定例会で可決した議案

◎満場一致 ○賛成多数

- ◎平成18年度越前市一般会計補正予算(第1号)
- ◎越前市収入役事務兼掌条例の制定について
- ◎越前市地域自治振興条例の一部改正について
- ◎越前市農業集落排水処理施設及び林業集落排水処理施設設置及び管理条例の一部改正について
- ◎南越清掃組合規約の一部変更について
- ◎福井県自治会館組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の一部変更について
- ◎南越消防組合規約の一部変更について
- ◎財産の処分について
- ◎専決処分の承認を求めることについて
- ◎平成17年度越前市一般会計補正予算(第4号)
- ◎専決処分の承認を求めることについて
- ◎平成17年度越前市下水道特別会計補正予算(第2号)
- ◎専決処分の承認を求めることについて
- ◎越前市市税賦課徴収条例の一部改正について
- ◎専決処分の承認を求めることについて
- ◎越前市都市計画税条例の一部改正について
- ◎専決処分の承認を求めることについて
- ◎近畿圏の近郊整備区域及び都市開発区域の整備及び開発に関する法律の施行に伴う市税賦課徴収条例の特例に関する条例の一部改正について
- ◎専決処分の承認を求めることについて
- ◎越前市国民健康保険条例の一部改正について
- ◎「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書

一般質問



▼部活動に励む中学生

議員紹介

- ①住所
- ②電話番号
- ③所属会派
- ④越前市議会の期数

 <p>たまたむら まさお 玉村 正夫</p> <p>① 宮谷町61-39 ② 27-2428 ③ 日本共産党議員団 ④ 2期</p>	 <p>なかにし しんぞう 中西 眞三</p> <p>① 家久町89-3-8 ② 24-2235 ③ 政新会 ④ 2期</p>	 <p>いとう やすし 伊藤 康司</p> <p>① 新在家町2-54 ② 42-2783 ③ 政新会 ④ 2期</p>	 <p>だいぶつ しんいち 題佛 臣一</p> <p>① 余田町41-15 ② 21-2268 ③ 大志 ④ 2期</p>	 <p>よしだ けいいち 吉田 慶一</p> <p>① 帆山町19-13-9 ② 22-3476 ③ 公明党議員団 ④ 1期</p>
 <p>かねこ よしのり 金子 芳巧</p> <p>① 今宿町4-8 ② 24-2312 ③ 政新会 ④ 2期</p>	 <p>うえやま なおゆき 上山 直行</p> <p>① 長谷町28-2 ② 42-1408 ③ 新世紀・市民派ネットワーク ④ 2期</p>	 <p>おおくぼ けいこ 大久保 恵子</p> <p>① 北府三丁目3-18 ② 22-5544 ③ 新世紀・市民派ネットワーク ④ 1期</p>	 <p>おがた よしのぶ 小形 善信</p> <p>① 塚町31-9 ② 22-3118 ③ 政新会 ④ 2期</p>	 <p>ほそかわ かおり 細川 かおり</p> <p>① 中印町18-14 ② 42-3437 ③ 新世紀・市民派ネットワーク ④ 1期</p>
 <p>たまかわ けいichiro 玉川 喜一郎</p> <p>① 西尾町45-79 ② 27-2576 ③ 新世紀・市民派ネットワーク ④ 2期</p>	 <p>ふくだ しゅうじ 福田 修治</p> <p>① 国府二丁目4-16 ② 22-3031 ③ 新世紀・市民派ネットワーク ④ 2期</p>	 <p>にしの ごろう 西野 与五郎</p> <p>① 北町45-60-1 ② 23-0741 ③ 大志 ④ 2期</p>	 <p>きど しげお 城戸 茂夫</p> <p>① 京町一丁目2-12 ② 22-8881 ③ 政新会 ④ 2期</p>	 <p>みたまら てるし 三田村 輝士</p> <p>① 余川町31-11 ② 27-1837 ③ 新世紀・市民派ネットワーク ④ 1期</p>
 <p>かたがし しゅうじろう 片粕 正二郎</p> <p>① 月見町63 ② 23-3247 ③ 無所属 ④ 2期</p>	 <p>あらし hitoshi 嵐 等</p> <p>① 北山町22-19 ② 24-0423 ③ 大志 ④ 2期</p>	 <p>ふくだ ゆきよ 福田 往世</p> <p>① 粟田部町30-4 ② 42-0241 ③ 政新会 ④ 2期</p>	 <p>きたの みつお 北野 光夫</p> <p>① 村国二丁目8-33 ② 24-2375 ③ 政新会 ④ 2期</p>	 <p>かわさき さとし 川崎 悟司</p> <p>① 矢船町4-1 ② 22-3242 ③ 政新会 ④ 2期</p>
<p>※議席順に掲載 (各写真の右上数字は 議席番号)</p> <p>◎問合せ 市議会事務局 ☎(22)3426</p>	 <p>まえだ しゅうじ 前田 修治</p> <p>① 国高三丁目12-9 ② 23-8485 ③ 日本共産党議員団 ④ 2期</p>	 <p>まえだ かずひろ 前田 一博</p> <p>① 中津山町22-1 ② 43-1567 ③ 大志 ④ 2期</p>	 <p>さざき とみき 佐々木 富基</p> <p>① 芝原四丁目9-20 ② 23-0249 ③ 新世紀・市民派ネットワーク ④ 2期</p>	 <p>せき りえこ 関 利英子</p> <p>① 平和町12-19 ② 23-4403 ③ 公明党議員団 ④ 2期</p>

R100

市議会だよりは、資源保護のために再生紙を使用しています。資源として活用できますのでリサイクルにご協力ください。